



「水の記憶」(高さ200cm×幅400cm×奥行180cm)

作者 かわぐち のりみつ
川口 智慎

*設置場所 市が洞小学校

*経歴

1973 生まれ
1996 愛知県立芸術大学大学院美術学部彫刻専攻卒業
1998 愛知県立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了
1999 愛知県立芸術大学大学院美術研究科研修課程彫刻専攻修了
現在 岐阜県立加納高等学校 美術科 非常勤講師(美術・彫刻専攻)
(財)NEO桜交流ランド 創造体験工房 陶芸 工房指導員
愛知県立芸術大学 美術学部 彫刻専攻 非常勤講師

*コメント

「私が田舎の小学校に通っていた頃、雨の日の登校や授業は嫌いだったが、雨の日のグラウンドが好きだった。晴れた日と違い、外でサッカーやドッチボールなどをして、みんなと遊ぶことが出来なかったが、グラウンドにある水たまりを使って自分だけの空間を作ることが楽しみだった。(いわゆる水遊びである。)昼休みや下校の時、グラウンドの水たまりで、傘や、ずぶ濡れの靴先で地面に溝を掘り、自分の思うように雨水をコントロールする。水の流れを作り空間を広げていく。」そんな思い出と遊び心からこの作品を作ってみようと考えました。「雨(自然の力)により作品が動き、水の流れや水音を聞くことができる。」作品を通して自然を再認識できるのでは。